

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

46号
2021
3.26

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



春の開園時間延長！3月27日(土)～5月16日(日)

開園時間を18:30まで延長します！(入園は18:00まで) ※本年は「桜のライトアップ」は行いません。

※ 京都府立植物園公式ツイッターアカウント始めました！見頃の植物情報を中心につぶやいています。



第60回 つばき展

- 期間：3月26日(金)～3月28日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：京都の名椿などツバキの切り枝を展示

◆3/27(土)園内つばき探訪

植物園会館前集合 13:00～13:45

「園内の椿案内」

案内：植物園職員

◆3/28(日)つばき展関連 講演会

- 植物園会館2階研修室 13:30～15:00
- (当日受付 13:00～) ※定員：先着60名
- 「植物とあぶらの深くておいしい関係」
- 講師：浅原貴美子氏(株式会社山中油店)

第29回 球根ベゴニア展

- 期間：3月27日(土)～4月11日(日)
- 場所：観覧温室(ジャングル室)
- 内容：球根ベゴニア約300鉢を展示

◆4/4(日)球根ベゴニア展関連 講習会

観覧温室(特別展示室) 13:30～

「園内における球根ベゴニアの栽培方法」

講師：植物園職員 ※定員：先着20名

第41回 京都盆栽展

- 期間：4月2日(金)～4月5日(月)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：盆栽約30席、80点を展示(即売あり)

東洋蘭講演相談会

- 日時：4月11日(日) 13:30～15:30(受付13:00～)
- 場所：植物園会館2階多目的室 ※定員：先着60名
- 内容：寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会

「水曜ミニガイド」 植物園認定が 仆がご案内！

※当面の間 水曜ミニガイドは中止させていただきます。

「副園長のほっこりガイド」

3月28日(日) 何処を歩くかはお楽しみ！

植物園会館前集合：午後2時スタート！

スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定！

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成！「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察！

小菊盆栽作り講習会(全5回) 募集中！！

第1回：4/3(土) 13:30～14:30(受付13:00～)

- ★小菊を使った盆栽仕立ての実演指導 ★定員：事前予約30名
- ★参加費：1,000円(別途、入園料が必要)
- ★事前申込：往復ハガキに講習会名、住所、氏名、電話番号、栽培経験の有無を明記 ★お切：3/28(日) ★会場：植物園会館2階研修室

アートボトル講習会(1) 募集中！！

4/8(木) 経験者の部 10:00～12:00
初心者の部 13:30～15:30

- ★山野草アートボトル同好会が作り方を指導 ★定員：各10名
- ★参加費：3,000円(別途、入園料が必要)
- ★事前申込：往復ハガキに講習会名、受講希望の回・部、住所、氏名、電話番号を明記 ★お切：4/1(木) ★会場：植物園会館2階多目的室

第1回 ハス講習会

- 日時：4月10日(土) 13:30～15:00(受付13:00～)
- 場所：植物園会館2階研修室 ※定員：先着60名
- 内容：「大賀一郎博士とハス～孫文蓮から～」
- 講師：金子明雄氏(京都花蓮研究会副会長、元園長)

第9回 サトザクラ展

- 期間：4月16日(金)～4月18日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：園内にあるサトザクラを中心とした切り枝を展示

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説！

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合：午後1時スタート！

「植物園ガイド」が植物案内！

～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増！～

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)

* 申込先：京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時
- 電話075-701-0141

※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです！
- 大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
- ※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP！



今週の「探して！」
2021. 3. 26
46号

⑫ マンゴー(花)

ウルシ科。北部インド～マレーシアに分布。インドでは4000年以上前から栽培されており、仏教の経典にもその名が見られる。花は総状花序。小さな花が房状で咲く状態になり、開花後に強烈な腐敗臭を放ち、受粉を助けるハエを誘う。

⑪ ニリンソウ

キンポウゲ科。北海道から九州、アジア東北部に分布。白い花弁に見える部分はがく片。多くは1本の茎から特徴的に2輪ずつ花茎が伸び、和名の由来となっている。まれに1輪や3輪のものもある。根茎で増えるため、群落を作ることが多い。

⑩ メディニラ・マグニフィカ

ノボタン科。フィリピン原産。茎の先端やその付近の葉腋から長い花茎を下げ、長さ10cmほどの淡紅色の美しい苞をつける。その先にコーラルピンクの小花を多数つけ、長期間咲き続ける。別名はオオバヤドリノボタン(大葉宿野牡丹)。

⑨ スノーフレーク

ヒガンバナ科。オーストリアやハンガリーなどヨーロッパ中南部原産。まだ寒さが残る早春から開花する姿はまるで残雪のようで、名前の「スノーフレーク(雪片)」はそれをよく表している。花と葉の外観から「スズランズイセン」の別名もある。

① トサミズキ

マンサク科。主に高知県(土佐)の山地に自生。枝を切ると水気が多いこと、また落葉高木のミズキに葉が似ることから名前が付いた。5～7個の丸みのある黄白色の小花が連なり花序になって下垂する。若い枝や葉柄に毛があることが特徴。

② ショカツサイ

アブラナ科。中国原産。三国志で有名な諸葛亮孔明(しよかつりょうこうめい)が兵士の食料とするため本種を栽培し、広めたことが名前の由来とされる。花の色などから「ムラサキハナナ」の別名でも知られている。繁殖力が非常に強い。

③ ナルキッスス・ブルボコディウム

ヒガンバナ科。フランス南西部、ポルトガル、スペインなどに分布。小型原種スイセンの代表的な種類。早春に花冠の広がった黄色いペチコートのような花が1茎に1花咲く。その外観から「ペチコートスイセン」とも呼ばれている。

④ アマミアセビ

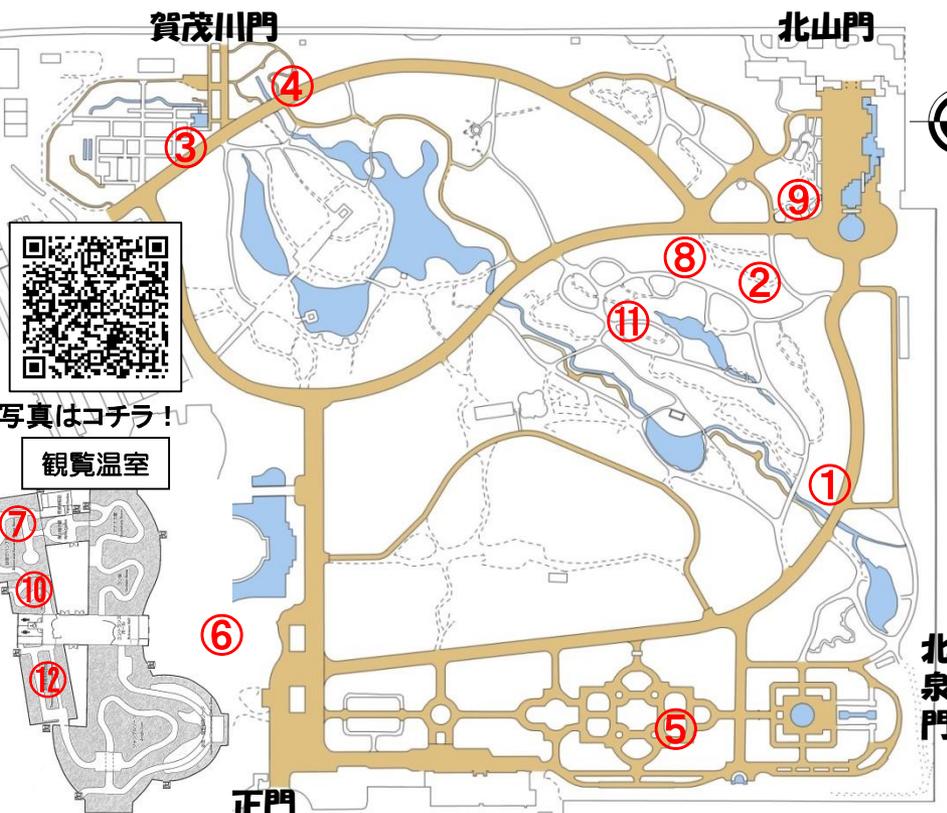
ツツジ科。1963年に鹿児島県の奄美大島で発見され、当時は沖縄県に自生する「リュウキュウアセビ」と同じと判断された。その後、葉や花の形などが異なることが判り、2010年にDNAを解析した結果、奄美大島固有の新種と判明した。

⑤ クリスマスローズ

キンポウゲ科。地中海沿岸に分布。欧米では冬咲きのヘレボルス・ニゲルのみを「クリスマスローズ」、春咲きのオリエンタリスを「レンテンローズ」と呼ぶが、日本では全てのヘレボルス属と園芸品種を総称して「クリスマスローズ」と呼んでいる。

⑥ ギンヨウアカシア

マメ科。オーストラリア南東部原産。黄色い房状の花を咲かせるアカシア属の総称で「ミモザ」とも呼ばれる。ミモザ(mimosa)は本来オジギソウ属を指すが、仲間のフサアカシアの葉がオジギソウに似ていたため誤って呼ばれるようになった。



⑧ ヒヤシンス

クサスギカズラ科。ギリシャ～シリアなどに分布。名前はギリシャ神話の美青年ヒュアキントスに由来する。野生種の花は青紫色であるが、園芸品種は花色も豊富。球根の表皮が花色と同じような色なので、球根を見ると概ねその花色がわかる。

⑦ プセウドボムバクス・エリプティクム

アオイ科。メキシコからエルサドバドルに分布。花は非常に長い雄しべが密集して美しく、その形状がヒゲを剃るときにクリームを塗るブラシに似ていることから、英語では「シェービング・ブラッシング・ツリー」と呼ばれている。